

質問

全国童画展パリ展の町民への詳細告知と参加者に対する経費の支援を



南 雲 正

答 弁 広報やマスコミを通じて町民にお知らせしている一般の人への経費支援は考えていない

問 文化活動に携わっていた町民を中心に「日本童画の父、川上四郎展」を開催し、童画の世界を湯沢の文化として発展させることを誓い合った日から20年。「越後湯沢全国童画展」も18回目を迎へ、4月には全国童画展のフランス・パリ展が開催され、湯沢の童画文化が世界に発信されることとなる。

この事業の重要性と歴史を考え、パリ展へ教育長一人だけの派遣ではなく、担当する職員も行かなければ将来の発展は望めない。町民への事業の詳細告知と参加を希望する関係者に経費の助成を行い、多くの人たちの参加を促し、「童画の町、ゆざわ」の更なる発展へのチャンスを生かす政策の展開が必要ではないか。

答 パリ展派遣は、予算と効果を考え、教育長1名の派遣が妥当であると判断した。パリ童画展は、広報等で町民の皆さんに知らせている。

補助金については、格安な価格設定で参加者の負担を減らしているのだから、一般の参加者に町費を使用することは見合わせた。

職員の町内担当制度の創設を

答 弁 提案としては理解できるが実施は難しい

問 合併しない町の利点である「顔の見える町政運営」を推進させ、町民参加を主体とした協働のまちづくりを推進するため、職員の町内担当制度を創設し、災害時に備えたきめ細かな情報収集と広報公聴活動をはじめ、町行政と町内のパイプ役として、より役場と地域を近づけるため、職員の町内担当制

度を早急に設ける必要があるかと考えるが。

答 住民との情報共有等、住民と一体となつての協働のまちづくりのために、職員の町内担当制度は提案として理解できる。

制度が有効活用されるように検討したいが、現時点では、職員の負担感も大きく、人的な面からも難しい。

雪国観光圏推進協議会の体制整備を早急に

答 弁 今年度から、ブランド観光圏認定をめざした事務局体制の整備、強化に取り組み

問 「雪国観光圏」の展開は、参加7市町村のトップ会議も行われ、国の観光庁が認定する「ブ

ランド観光地域」の登録認定を目指し、雪国観光圏推進協議会の動きが始まっている。

しかしながら、推進協議会の会長を務める当町において、観光業界全体が一致団結して取り組んでいる姿勢が見えてこない。

全国の49観光圏から6観光圏に絞られ、そのトップランナーに位置づけられる雪国観光圏構想

の実現こそ、今後の町の観光指針として重要な意義がある。雪国観光圏推進体制の早急な整備が必要であると思うが。

答 雪国観光圏推進協議会の事務局体制強化は、新年度の雪国観光圏事業と観光の街づくりの要であるので、構成市町村長会議において専従の事務局員を雇用するために、応分の負担をして頂くことに合意している。

企画戦略推進室の設置は役場機構の改革と併せて実施を

答 弁 企画政策室を設置して、時代に合った役場機構の改革を検討する

問 人員削減を想定した中での現機構の実施以来、7年が経過して時代の推移に合わせた機構の見直しの時期が来ている。

時代の要請に合わせた役場組織の改革を検討し、企画戦略推進室を設置すべきであると考えが。

答 時代の推移に合わせた機構の見直しが必要と考えている。

平成26年度に企画政策室を設置し、年度中に時

代の要請にあった役場組織の改革を検討し、平成27年度から段階的に組織体制の構築を目指したい。